

質問 88-107

恵みの手段：みことば、聖礼典、祈り

質問 88 キリストが贖いの恵みを私たちに伝達するために使用なさる、外的であり、通常的手段は、何ですか。

答え I キリストが贖いの恵みを私たちに伝達するために使用なさる、外的であり通常的手段は、キリストの規定ですが、特にみことばと礼典、そして祈りです。このすべては、選ばれた者の救いのため効果が現れるようにします。

1. 聖霊が私たちの心に、悔い改めと信仰を 起こさせる手段は、何ですか。

聖霊が、私たちの心に悔い改めと信仰が起こされるように御業を行うからといって、私たちは何もしなくても良いではありません。神は、聖霊によるこのような御業が起こるための外的手段を定められました。神のみことばを聞く中で、聖霊による信仰と悔い改めを起こすと定められました（ロマ 10:12-17）。

一方で、祈る中で、聖霊の御業によって信仰と悔い改めが起こるようになると、神が定めて置かれました。これは、神の救いの計画の中で定められた手段です。この手段は、必ず必要です（使徒 4:12, ガラテヤ 3:22）。従って、神のみことばを聞かずに、祈らずに、聖霊による信仰と悔い改めが起きる御業を期待することは出来ません。

2. 神が定められた 恵みの外的手段を、どのように使用すべきですか。

神が、贖いの恵みを罪人たちに伝達するために定められた手段である、神のみことばを聞くことと、祈りの手段を一生懸命に使用すべきです。このような手段を無視したり軽蔑するのは、大変傲慢な態度です（ルカ 10:16）。それゆえ、神の恩徳を適用する者たちは、すでに、霊的に低くされて、このような手段を一生懸命使用するようになっていきます（箴 2:1-5）。しかし、一方で、このような手段を使用したから、私たちに信仰と悔い改めが起きたのではありません。神がこのような手段を一生懸命に使用する中で、恵みをくださると約束なさったからです。従って、私たちが、恵みの手段を使用して救いを得るのではなく、神の恵みによって得るのです。

3. 罪を悟った罪人は、みなが キリストを探すために 出られますか。

罪を悟った罪人みな、罪の赦しを受けるために、キリストを探すために起き上がるのではありません。ペリクス総督は、イエス・キリストを信じる道について知っていました（使徒 24:22）。使徒パウロの説教を通して、罪に対する覚醒が生じました（使徒 24:25）。しかし、彼は、それ以上、神のみことばを聞こうとしませんでした。神のみことばを拒否したのです。それゆえ、罪に対する覚醒が起きたとしても、神が用意した恵みの手段の下に入って行って、恵みを求めない限り、キリストに対する信仰は起こらないのです。ペリクス総督に生じた覚醒は一時的で、救いの恵みとは関係のないものでした。

4. キリストは どこに提示されていますか。

福音の中に、キリストは提示されています。私たちがキリストを信じるとは、福音の中に提示された通りに受け入れることです（コロサイ 2:6）。これは、神が私たちに提示なさる救いの唯一の方法です（使徒 4:12）。まるで、荒野で燃える蛇にかまれて死んでいく者たちに、救いの唯一の方法として、青銅の蛇を提示なさったのと同じです（ヨハネ 3:14）。神が用意された救いの方法を受け入れるとは、すでにその霊魂は低くされて神に屈服していることを意味します。しかし、十字架にかけられ死なれたキリストが愚かに見え、自分の救いのための方法として受け入れられないと言って断る者は、まだ霊的に低くされた者ではなく、傲慢な状態です（I コリント 1:22）。この者たちは、まだ救いから遠く離れている者たちです。建築家の捨てられた石を信じる者には尊い石になりますが、信じない者にはつまずきの石となります（I ペテロ 2:7-8）。

5. 福音は、だれに提示されますか。

救いの福音は、すべての民族とすべての人に提示されます。これは制限なく証しされます（マルコ 16:16, ロマ 10:2, ガラテヤ 3:26, I テモテ 1:13）。福音は、すべての所ですべての人に、悔い改めることと、信じることを求めています（マタイ 11:28）。このように福音の招待は宇宙的であります。救いの約束はただ信じる者に適用されます（ロマ 10:9）。一方、福音をすべての人が信じるとは語っていません。更に、この信仰は、神の賜物として、恵みの手段の下で、聖霊の有効な御業によって選ばれた者に与えられるのです（ヨハネ 6:45）。従って、私たちは、一生懸命に福音を伝え、聖霊の御力が彼らに現われることを求めるべきです（I コリント 2:4）。

6. キリストの 贖いの御業の有益とは、何ですか。

キリストがこの地に来られて、父の御心に従って十字架で血を流して死なれたことによって、私たちはその血によって罪の赦しを受け、罪から自由になりました（エペソ 1:7）。キリストの贖いの御業によって、私たちが受けるようになった有益は、罪の赦しと罪から解放されることです（エペソ 1:14）。キリストは私たちが神の相続人となるようになさったのですが、これもやはり、キリストの贖いの御業による有益です（ロマ 8:17）。キリストは贖いの有益などを私たちに伝達させ、私たちが有益を得るようになさっておられます。

7. キリストの贖いの有益が、私たちに伝達される 外的手段は、何ですか。

しるしと不思議や天から来る声、夢、幻などが外的手段ではありますが、伝達されたメッセージを確証させる機能を持っているわけで、通常的な救いの手段ではありません。ユダヤ人はしるしを要求しましたが（I コリント 1:22）、それは、彼らに救いが起こされるための手段ではありません。信じるためにしるしを求める自体が不信仰です。神は、私たちに救いが起こされるように手段を定めました。それは、キリストの贖いの有益を罪人たちに伝達させる通常的な手段です（ロマ 10:14-18）。規定を通してキリストを啓示なさった以降、私たちにその手段を用い、キリストを探しなさいと命令なさっています（ヘブル 13:20-21）。これを「外的手段」と呼ばれる理由は、内的手段と区別するためですが、内的手段とは、聖霊の有効な御業による悔い改めと信仰です（ヘブル 4:2）。

8. 恵みの伝達手段である 規定は 何ですか。

救いが起こるようにする規定などは、人々が作れるものではありません。これは、ただ神が定められています。その規定などは、みことばと礼典と祈りです。これらを「恵みの手段」と呼んだりもします。これは、神が恵みを与える方式であり、私たちが恵みを受ける方法です。ただ神がこの方法を定められた

ので、先ず、この恵みの手段に屈服しなければならず、恵みの手段の下に入って来なければなりません。この手段を通して聖霊が御業を行い、キリストの恩徳などが伝達されます。従って、みことばを読み、説教を聞かなければならず（ヨハネ 20:31）、礼典に参加しなければなりません。勿論礼典は、回心の道具ではありませんが、信仰を確証させる手段です。祈りは、特別な救いの手段です。祈りをする中で聖霊の御業によって罪人だと悟り、また、キリストの赦しを体験します（ロマ 8:15）。

9. キリストの贖いの有益などが 通常的手段によって伝達される時 その効果は だれに現われますか。

恵みの手段などは、特に、選ばれた者にだけ有効なのです。たとえ、選ばれていない者たちが恵みの手段の下にいたとしても、彼らにはその手段が有効にはなりません。キリストが比喻によって語られた時、選ばれていなかった者たちはその意味が全然悟れませんでした。しかし、弟子たちは、キリストの説明によって救いの意味を悟ることができたのです（マタイ 13:10-11, 23）。従って私たちが、恵みの手段を用いて福音を伝える時、その人が選ばれた民なのかどうかは、その効果によって知ることができます（使徒 13:48）。恵みの手段の下にいながら回心したり、聖さを追求するのが現れるなら、その人は選ばれた人です（ロマ 8:28-32）。

質問 89 みことばが、どのようにして 救いを有効にさせますか。

答え I 神の御霊が、みことばを読むとき、特に、みことばの説教によって、罪人たちを責め、回心させる有効な手段とさせながら、彼らを聖さの中で建て上げ、救いに至る信仰を通して慰めるのです。

質問 90. 救いを有効とするためには、みことばをどのように読み、聞かなければなりませんか。

答え I みことばが救いを有効とするには、私たちは必ず、熱心に準備し、祈りながら、みことばを読むのと、聞くことに参加し、みことばを、信仰と愛によって受け、そのみことばを心のうちに蓄え、私たちの生活の中で実践することです。

1. 神のみことばが、どのようにして 救いを有効にさせますか。

神は、みことばを読むことと（ヨハネ 5:39）、みことばを説教することを（Ⅱテモテ 4:2）、救いのための有効な手段と定めて置かれました。聖霊が、みことばを読み、説教を聞く中で御業を行い、靈魂に覚醒が起きるようにされます（ロマ 1:16）。特に聖霊が、罪人たちに、神のみことばを通して自分たちの罪を悟るようにされ、自分たちが悲惨な状態にいることを知るようにされます（Ⅰコリント 14:14）。聖霊が罪人たちに神の律法を破ったことを知るようにさせ、彼らの不信仰を見るようにされます（ヨハネ 16:8-9）。結局、聖霊が罪人にキリストの中に贖いの有益があることを知るようにさせ、キリストに出て行くようにさせます（使徒 26:18）。それは、聖霊が神のみことばを主権的に使用なされたからです（Ⅰコリント 1:24-31）。勿論、これは神が定められた救いの通常的な手段です。

2. 神のみことばを読むのと 説教を聞くことによって、 どのようにして 聖なる聖徒として 建て上げられますか。

聖霊は、神のみことばを読むこと、説教を聞くことを効果的にさせて、信者が罪と戦うようにさせます。聖霊がみことばを手段として邪悪と汚れを見るよ

うにさせ、信者に罪から避けるようにさせます（詩 119:11）。もう一方で、聖霊は、みことばを道具として、信者によってキリストの栄光を見るようにさせ、キリストの形としての回復を渴望するようにさせます（Ⅱコリント 3:18）。また、聖霊は、神のみことばを通して、信者に自分の義務を悟るようにさせ、従順するようにされます（ロマ 12:1）。結局、聖霊が、みことばを通して聖なる聖徒として建て上げる働きをなさるのです。

3. 神のみことばを読むのと、説教を聞くことが、 どのようにして 聖徒にとって 慰めの手段となりますか。

聖霊が霊魂を回心させる時、先ず、その霊魂に自分の罪悪によって悲しむようにさせます（Ⅱコリント 7:10）。自分の罪悪の中で悩み、罪の赦しを求めている霊魂に、キリストの中に救いの有益があることを知るようにさせます。それで、霊魂がキリストに走って行くようにさせます。救いのために、キリストをつかんだ霊魂は、罪の赦しを経験し、神の審判に対する恐れから解放されるようになります。この時、聖霊は、その霊魂を慰め、神に向かってアバ・父と呼べるようにさせるのです（ロマ 8:15）。回心した後には、聖霊が、神のみことばを読み、説教を聞く霊魂の上に働かれ、彼らに神の尊い約束を見るようにさせ、慰めるのです（ロマ 15:13）。

4. 神のみことばを どのように読み 聞くことで、救いが有効となれますか。

先ず、神のみことばを個人的に研究しなければなりません（ヨハネ 5:39, 使徒 17:11）。そして、体系的に聖書を研究しなければなりません（黙 1:3）。聖書を熱心に朗読し（Ⅰテモテ 4:13）、公の礼拝の時に伝道者の説教を聞かなければなりません（エペソ 4:11）。勿論、説教者は、神のみことばを単純に平易に講論しなければなりません（Ⅰコリント 2:4, 14:9）。教会のすべての礼拝に定期的に参加してみことばを読み、聞かなければなりません（ヘブル 10:25）。

また説教のために祈りによって準備をし（使徒 1:14）、信仰によってみことばを受けなければなりません。そのみことばは、救いに必要なみことばでなければならず、そのみことばが、個人に直接伝達されるのと同じように受けなければなりません（哀歌 3:24）。またみことばを、愛によって受けなければならず（Ⅱテサロニケ 2:10）、自分の心に蓄え（詩 119:21）黙想し（詩 1:2）生活の中で実践しなければなりません（ヤコブ 1:21-22）。

質問 91 礼典が、どのようにして 救いの有効な手段となるのですか。

答え I 礼典が 救いの有効な手段となるのは、礼典そのものが持っている どのような徳からでもなく、礼典を執行する者から来るのでもありません。ただ、キリストの祝福と、礼典を信仰によって受け入れる人々の内に聖霊の御業があることによるのです。

質問 92 礼典とは、何ですか。

答え I 礼典とは、キリストによって制定された聖なる規定であって、知覚できるしるしによって、キリストと新しい契約による恩徳などを 信者たちに示し、保証し、適用させることです。

1. 礼典そのものに、恵みを提供できる 力があるのですか。

礼典そのものに徳があつたり、効果があつて、救いを提供するのではありません。礼典は、恵みの通常的な外的手段です。従つて、それ自体で効力がある

のではありません。また、礼典は、施行する者の徳によって効力があるのでもありません。従って、ただ物理的に礼典に参加することでは、何の効力もありません（I テモテ 4:8）。ユダヤ人は割礼を受けたのですが、彼らは律法を破る者たちでした。彼らには、割礼に何の効力や有用性はなかったのです（ロマ 2:25）。シモンも執事ピリポによって洗礼を受けました。しかし、彼の心には苦い胆汁と不義の絆で一杯でしたので、洗礼がその人に何の有用性をもたせなかったのです（使徒 8:13, 23）。

2. 礼典が、どのようにして 救いの有効な手段となるのですか。

礼典の効力は、キリストが祝福なさること、聖霊の御業によってもたらされるのです。キリストが礼典に対して祝福なさってこそ有効になり、祝福されることによらなければ何もなりません（ロマ 1:16）。聖霊は、霊魂を回心させる過程で、霊魂の上に恵みを植えさせます。そして、礼典が施行される時、聖霊がその恵みを立て起こし拡張させるのです（ゼカリヤ 4:6）。礼典に参加する時、キリストが祝福してくださり、聖霊の御業によって、自分の罪が赦されたことを確信させられ、神が自分を受け入れてくださった恵みに感激し、キリストが変わらず命をくださることに感謝するようになるのです。従って、私たちは礼典に参加する時、キリストの祝福なさることと聖霊の御業を頼るべきです。

3. 礼典は、どなたが制定されましたか。

礼典は、キリストが制定されました（マタイ 28:19）。キリストが、聖なる目的と用度のために制定されました。キリストは教会の頭として礼典を定める権限を持っておられます（エペソ 1:22-23）。礼典は二つの要素を持っていますが、第一は、外的には目で見られるしるしを持っていて、第二は、内的には霊的な恵みを表します（マタイ 3:11, I ペテロ 3:11）。外的に目で見られる礼典は、恵みを表します（ヨハネ 6:56）。目で見られるしるしを通して、霊的恵みを表す目的があります。従って、礼典を通して、私たちの記憶を新たにさせます。

ヨシュアが石を立てたのも、すべての人々に記憶させようとしたことと、同じ論理です（ヨシュア 4:7）。

4. 礼典は、何を表わしますか。

礼典は、キリストと新しい契約との有益を表わします。キリストは、十字架につけられ血を流されました（ガラテヤ 3:1）。礼典は、キリストの血の契約を見るようにさせます（出 24:8）。礼典を通して、キリストと新しい契約の有益などが、受けるに相応しい者たちに伝達されます（I コリント 11:23）。礼典を通して、キリストの驚くべき愛が再び確認されます。それゆえ、キリストに感謝するようになります。また、礼典は、私たちがキリストと共に葬られ、キリストと共によみがえられたことを、はっきり見せてくださるので、それ以上、罪の中に生きないようにさせ、神に対して生きるようにさせます（ロマ 6:6）。

質問 93 新約での礼典は、何ですか。

答え I 新約での礼典は、洗礼と主の晩餐です。

1. 旧約での礼典は、何ですか。

旧約では、色々の礼典がありました。また、罪が入って来る以前のエデンの園では、命の木と善悪を知るようにさせる木がありました（創 2:9）。この木などは、神の恵みと命令を思い起こさせるものでした。命の木を見ながら実を食べる時、永遠の命の中におらせた神の恵みを記憶することです。一方、善悪を知るようにさせる木を見ながら、神が命じた戒めを考えることです。従順するように挑戦を与えるものです。それゆえ、礼典に該当されます。しかし、新約

の礼典と、より近く一致させる旧約での礼典と言えば、割礼と過越祭です。旧約の割礼は、古い人を切り捨てるという意味を持っています。契約の民として、それ以上、古い人として生きて行かずに新しい人として生きていくという意味です（ガラテヤ 3:27, 29）。必ず罪の赦しが必要なので、過越祭の犠牲の奉げ物は、キリストが、私たちをも罪に対する神の審判を過ぎ超えさせるということを見せられました（I コリント 5:7）。

2. 新約での礼典は、何ですか。

新約での礼典は、洗礼と主の晩餐です。これは、旧約の割礼と過越祭とは、その形態が異なります。血を振りかけたことが、今や、キリストの犠牲を通してその血の効果を見せてくれることになりました。それゆえ、私たちは、キリストの贖罪の奉げによって成就されたことを、礼典を通してそれを記憶することです（エペソ 5:2）。割礼や過越祭には、すべてに血がありました。キリストが血を直接流されたことを、新約では、その血の効力について礼典を通して見せるのです。従って、新約での礼典は、永遠の命を私たちに見るようにさせてくれます。

質問 94 洗礼とは、何ですか。

答え I 洗礼とは、ひとつの礼典として、父と子と聖霊の御名の中で水によって洗うことです。これは、私たちがキリストに接ぎ木されたことと、恵み契約の恩徳に参加することと、私たちが主の所有になれたことを意味し、確認させるのです。

質問 95 洗礼は、だれに授けられますか。

答え I 洗礼は、可視的教会の外にいる人に執行されるものではありません。キリストへの信仰と従順に対する告白があつてのみ、受けられます。しかし、可視的教会の会員の幼児たちには、洗礼が授けられます。

1. 洗礼の時に、三位の名によって、水で洗う理由は 何ですか。

洗礼に定められた要素は水です。水を人に適用させる時は、いつも、洗い流すという意味を持ちます。体を水で洗うのは、霊的に清くさせることです（使徒 22:16）。それゆえ、信者に適用させる時には、キリストの血によって罪責から解き放たれ（ゼカリヤ 12:1）、聖霊によって新しく生まれ、清められたことを表します（ヨハネ 3:5, テトス 3:5）。三位の名によって洗礼を受ける理由は、神が私たちの父であり、キリストは救い主となられ、聖霊は私たちを清くさせる方として示され（マタイ 28:19）、洗礼に授かった者は、父と子と聖霊に奉げられたものになったことを意味します（イザヤ 44:5）。

2. 洗礼が 確証するのは、何ですか。

洗礼は、私たちがキリストに接ぎ木されたこと、恵み契約の有益などに参与することと、私たちが主の所有になれたことを確証させます。洗礼は、私たちがキリストに結合され、命を得ることを証します（I コリント 12:13-26）。それゆえ洗礼を「教会に介入する儀式」と呼び、洗礼を受けた者が、契約の中にいることを公開的に見せることです。信仰によってキリストに接ぎ木されれば、キリストの中にある救いの有益を味わうことができます。従って、洗礼は、信仰を更に強化させる機能をします。一方で、キリストに接ぎ木されたとは、主の所有になったということを意味します。洗礼を受けた者は、これからキリストのために生きて行くこと（ピリピ 1:21）、キリストの御心を行いながら、キリストの聖徒を愛すべき責任があります（I コリント 12:13）。

3. 洗礼を受けるための、条件は 何ですか。

洗礼を受けるためには、信仰告白と従順の証拠がなければなりません（使徒 8:36）。洗礼候補者は、必ず自分が真理を理解していることと、真理に従って生きることを見せなければなりません。信仰告白においては、三位の神と、贖い

の御業について説明できなければならず、新生の必要性についても語らなければならず（ヨハネ 3:5）、救いの効果についても陳述できなければなりません。また、父なる神によって養子となることが出来たことと、キリストの血による罪の赦しと、聖霊による聖化を告白できなければなりません。一方で、自分が礼拝に休むことなく、主日を守り、神に自分を捧げている証拠があるべきです。このように信仰告白と、従順の生活を証し洗礼を受ければ、教会の会員となり霊的特権を味わうようになれます。

4. 幼児洗礼は、だれに授けるのですか。

可視的教会の幼児たちに洗礼が授けられますが、父母の信仰告白（使徒 16:5）を通して授けます。幼児たちに洗礼を授ける根拠は、彼らを父母と同一視して、聖なる者として召されたことと見るのです（エペソ 6:1-4）。勿論、イエスさまが幼子たちを受け入れてくださったことを根拠にして、教会の会員になることが出来ると見るのです（マタイ 19:14, ルカ 18:16）。また、使徒たちが、家族たちにも洗礼を授けたことに従ってのことです（使徒 16:5, I コリント 1:16）。幼児が洗礼を受けることで、聖霊によって清くさせられることと、新生の重要性を証しするのです。

質問 96 主の晩餐とは、何ですか。

答え I 主の晩餐とは、ひとつの礼典です。パンとぶどう酒を与え、また受けることですが、キリストが定められたことに従って、キリストの死を現し見せる儀式です。主の晩餐を相応しく受ける者は、肉体的で、肉欲的な方式に従ってではなく、信仰によって、キリストの体と血に参与して、恵みのうちに霊的に養われ、成長のため、あらゆる恩徳を受けることです。

質問 97 主の晩餐を相応しく受けるには、何が求められていますか。

答え I 主の晩餐に相応しく受けようとする人に、次のことが求められています。すなわち、主の御体をわきまえる知識があるのか、信仰があるのか、そして、自分には悔い改めと愛と従順があるのかを自ら点検し、相応しくないまま飲み食いしないように、自分たちに裁きを招くことのないようにすることです。

1. 主の晩餐は、何を示しますか。

主の晩餐は、パンとぶどう酒を与え、受けることです。それを主の食卓（I コリント 10:21）、聖晩餐（I コリント 10:16）、祝福のパンと杯と呼びます。パンとぶどう酒は、キリストの体と血を示します（I コリント 11:24-25）。主の晩餐は、過越祭の捧げ物と緊密に関連されていて、過越祭の羊の血によってエジプトから救い出された日を記念したように、キリストの血によって罪の赦しを示します（I コリント 5:7）。主の晩餐を通して、私たちが贖われたことに感謝するのです。パンを受け、ぶどう酒を受けることは、信仰によってキリストの救いを喜んで受け入れることと、神の贖いの恵みを値い無しに受けることを記憶するのです（ヨハネ 3:27）。主の晩餐にあずかることによって、私たちは、キリストの救いが必要であるのと、罪の赦しと、霊的な生活の成長のために、キリストを全的に頼りますという告白をするのです。

2. 主の晩餐を、相応しく受ける方法は 何ですか。

主の晩餐にあずかるのは、教会員としての特権と義務です。主の晩餐にあずかるためには、霊的に求められるのがあります。まず、主の晩餐にあずかる者は、回心した者であるべきです。信仰告白と生活が一致しなければなりません。聖霊の有効な御業によって、清い生活の証拠がなければなりません。主の晩餐

が象徴することと、聖霊の御業による効果などを知っていなければなりません。霊的に無知な者と道徳的に問題がある者は、主の晩餐にあずかることはできません。洗礼を受けたとしても、信仰告白に従って生きない者たちは、悔い改めの証拠がある時まで、晩餐を受けるのを猶予しなければなりません（I コリント 5:11）。主の晩餐を相応しく受けるためには、自分の霊的状态を自ら確認してみるべきです（II コリント 13:5）。御からだをわきまえないで飲み食いするならば、自分を裁くこととなります（I コリント 11:28,29）。

質問 98 祈りとは、何ですか。

答え I 祈りとは、私たちの望んでいる事を神に捧げることです。神の御意思に一致する事のために、キリストの御名によって、私たちの罪の告白と、神の慈悲を認める、感謝する心で神に捧げるのです。

1. 祈りとは、何ですか。

祈りとは、私たちの望んでいる事を神に求めることです。祈りは、ただ神に捧げられ（詩 5:2-3）神に礼拝する行為です（マタイ 4:10）。神だけがすべてのことを統べ治め、すべての所に偏在し、私たちを保護し、私たちに救いの恵みをくださるから、ただ神に祈りを捧げるのです（エペソ 3:14-19）。また、神だけが私たちの祈りに答えられるから、神に祈りを捧げます。従って、神に祈りを捧げる時は、確信を持って祈るべきです（I ヨハネ 5:14）。

2. 私たちの祈りの中で、三位・神との関係は 何ですか。

私たちの祈りの中では、三位・神の位格と、特別な関係を持つようになります。私たちは、天におられる父に祈ります（マタイ 6:9）。私たちは聖霊によつ

て、そして、キリストを通して父に近づけるのです（エペソ 2:18）。聖霊は私たちの祈るべき事を教えてくださり（ロマ 8:26）、キリストは私たちの願い事を保証してくださり、父は私たちが求めることを許可なさるのです。従って、私たちが祈るとき、三位の位格のなさる働きについて、先ず、黙想することと、謙遜に祈ることです。

3. 祈りの要素には、何がありますか。

祈りには三つの要素がありますが、それは、望んでいる事がらと、告白と、感謝です。望んでいる事がらとは、私たちの願っていることを神に捧げることですが、心から出て来るのでなければならず（イザヤ 29:13）、神の御心と一致しなければなりません。神の御意思と一致するとは、その方の正しさから外れてはならないということです。告白とは、祈りの内に私たちの罪を告白することです。罪を告白するとは、義である神の御前にいること、罪人なのにも関わらず、神が恵みを与えることを認めることです（詩 32:5）。罪を告白する時には、罪に対する憎しみと悲しみがなければなりません（ルカ 18:13）。感謝は、神が与えてくださった恵みに対する認めです。神の祝福を受けるほどの資格がないにも関わらず、与えてくださった恵みと、この地での、一時的ですが、くださった物質と霊的祝福などに感謝することです（詩篇 145:9）。

4. キリストの御名によって祈ることと、御霊と共に祈るとは、どのような意味ですか。

キリストの御名によって祈るとは、私たちの祈りが神に受け入れられ、答えられるために、キリストだけを頼ることを意味します（エペソ 3:12）。私たちはキリストと結合されているので、キリストの贖いの有益を持ち、神に訴えることができます。キリストによって、神の子どもとして、神の愛と特権と受け継ぐ分を要求することができるのです（ヨハネ 14:13,エペソ 3:12）。御霊によっ

て祈るとは（エペソ 6:18）、聖霊は私たちの必要を知るようにさせ（詩 51:10–11）、神の御心を知るようにさせるからです（ロマ 8:26–27）。聖霊は、私たちの心を神に注ぎ出せるように助けてくださいます（エペソ 2:18）。聖霊は、私たちが祈るとき、望みを起こさせ、答えに対する確信も与えます。

質問 99 神が私たちに、祈りの指針としてくださったのは、何ですか。

答え I 神のみことば全体が、私たちの祈りの指針として有用です。しかし、キリストがご自身の弟子たちに祈りの形態として与えた、特別な指針の規定がありますが、それは「主の祈り」と呼びます。

質問 100 主の祈りの序言は、私たちに何を教えていますか。

答え I 主の祈りの序言は「天にいます我らの父よ」です。これは、私たちに聖なる敬愛心と確信を持ちながら、神に近づきなさいと教えています。まるで、子供が父に行くようにです。天の父は私たちを助けられるから、準備できているからです。それゆえ、私たちは、他の人々と共に、そして、他の人のためにも祈りをするのです。

1. 主が、私たちに 祈りの指針としてくださったのは、何ですか。

人間は、自然的に、神に対して無知で、完全なる栄光についても知りません（ロマ 3:11）。自分自身の罪のせいです（黙 3:17）。従って、祈りの指針が必要です。神のみことば全体が、私たちに、祈りの指針として有用です。神のみことばには、多数の信仰の人物たちの願い事と告白との祈りがあります（創 18:22–23,ダニエル 2:18–19,使徒 12:5,7–11）。それにも関わらず、主は、ご自身の教

会と民を守るために特別な祈りの指針を与えました。キリストは、弟子たちに祈りの形態として、特別な指針を与られました。それを「主の祈り」と呼びます。これは、とても単純でありながら、包括的で、祈りの方法を見せてくれます。私たちには願い事があり、罪に対する告白があり、神の恵みに対して感謝があります。一方、主の祈りは、序言、願い事、結びと構成されています。願い事は6つとして配列されています。従って、主の祈りは、私たちに続けて祈ることを勧めていて、神との交わりが祈りと共に持続できることを要求しています。

2. 主の祈りで「天にまします我らの父よ」という序言は、何を意味しますか。

祈りは、神に捧げることです。神の主権と威厳と恵みとを認識しながら敬愛する心を持って祈りなさいという意味を持っています。祈る者は必ず、神は天におられることと、私たちは地にいることを記憶しなければなりません(詩11:4)。神は私たちの父であり、私たちを愛して、私たちとの交わりを喜ばれ、私たちが求めるものをくださる準備ができていることを知るべきです。従って、神に祈るときは最も謙遜な心によって捧げるべきです(ルカ11:13)。「我らの父よ」と具体的に呼ぶことを教えていますが、新しい契約を根拠にして呼べるのです。一方、他の人々のためにも祈るべきと語っていますが、教会と家庭で礼拝しながら、共に祈らなければならないことを意味します。

質問 101 第一の祈願では、私たちは何を、祈り求めるのですか。

答え I 第一の祈願は「願わくは、御名をあがめさせたまえ」です。私たちは、神が私たちと他の人々をも、すべての事において神があがめられるように祈りをし、それによって、神ご自身が表わされ、神は万事につけ、ご自身の栄光のために配剤なさるように、とのことです。

1. 主の祈りで、第一の祈願の内容は 何ですか。

第一の祈願は、「御名をあがめさせたまえ」です。第一の祈願の主な関心事は、神の栄光のためにです。神は何より尊い方として、私たちに救いの恵みを与えてくださる方です。更に、神の御名を言及なさる理由は、神の品性と属性、みことばと御業の中に示される特徴を記憶し、考えながら祈ることを要求するからです。「御名をあがめさせたまえ」とは、神に対して特別な栄光を帰することが、祈りの中にあるべきとのことです。第一の祈願は、神を敬う行為となります。

2. 第一の祈願から、私たちは实际的に、どのように祈るべきですか。

第一の祈願の適用は、私たちは、神が与えてくださった恵みを認めながら祈りを捧げることです。神の創造の御業による、神の力と栄光とを賛美することです（ロマ 1:20）。神のご慈悲の中で与えられる摂理に対しても賛美を捧げ（創 32:10）、かつ、悪人たちに対して公義の審判をなさる神を恐れながら祈りを捧げることです（詩 119:120）。神の贖いの方について賛美をし、ただキリストを通して救われることに対して、神の知恵を高めることです（I コリント 1:24）。

3. 第一の祈願に対して、神は、どのように応答なさると約束されていますか。

神の御名をあがめる祈りについて、神は、ご自身を現し、万事につけ、ご自身の栄光のために配剤なさると約束なさっています。神は、キリストによってご自身を現し（ヨハネ 1:14）、民たちの生活の中で現わすでしょう（マタイ 5:16）。たとえ、すべての不幸と災いの中でも、状況をご自分の民に益になるようになさるでしょう（使徒 19:19-21）。第一の祈願に対して、神は摂理を通して、ご自分の御名をあがめるようになさるでしょう。

質問 102 第二の祈願では、私たちは何を、祈り求めるのですか。

答え I 第二の祈願は「御国を来たせたまえ」ですが、私たちはサタンの王国が破壊されるために祈るべきであり、恵みの王国が進展され、私たち自身と他の人々がそこに入り、その中で守られ、結局、王国の栄光が促進されることのために、祈るのです。

1. 第二の祈願に含まれている、最も優先となる内容は、何ですか。

第二の祈願は、「御国を来たせたまえ」です。この祈願には、三つの内容が含まれます。最優先となる内容は、神の主権がすべてにおいて実行され、神の栄光が現れるようにしてくださいという祈願です（詩 103:19）。この祈りは、神の統治が教会と民の上に実行され、教会と民を顧みてくださいますという意味です（詩 59:13）。神は、ご自身の主権をキリストに委任なさいました（マタイ 28:18）。従って、この祈願は、キリストの統治によって多くの霊魂が、救いの恵みを受けられるようにと、祈ることにあります（ルカ 17:21）。

2. 第二の祈願が含んでいる、その次の内容は 何ですか。

第二の祈願は、サタンの王国が破壊されることを祈るのです。サタンは、神に敵対して天から追い出された天使です（黙 12:9）。サタンは神に対する敵対感と憎しみを持ち、特に神の民たちを誘惑して、罪を犯すようにと働きます。サタンは、世を惑わして人々を霊的に混沌にさせ、真理の光に出て来られないようにします（Ⅱコリント 4:4）。新生していないすべての自然な人は、サタンの奴隷となった状態です（エペソ 2:2）。サタンは、偽りと異端の教えを造って教会を攻撃します（Ⅱペテロ 2:1）。従って、私たちは、サタンの王国が破壊されるように祈るのです。

3. 第二の祈願に含まれている、最後の内容は 何ですか。

恵みの王国の進展です。恵み王国の進展によって、サタンの王国は破壊され
るからです(ヨハネ 12:31)。恵み王国の進展によってサタンの権威が弱まり(黙
12:9-10)、サタンの奴隷となった者たちが自由になれるのです(ルカ 4:18)。
恵み王国の進展とは、救いの恵みを得た民たちが教会に集まって来ること
です(ゼカリヤ 8:20-23)。ユダヤ人と異邦人の区別はなく、主の教会に集ま
って来て、全地で聖さを現わすのです(ロマ 10:12)。このような恵みの王国
の進展は、福音宣教と聖霊による抵抗できない御業によって成し遂げられ
ます(詩 110:2-3)。従って、第二の祈願は、福音が全世界に広く証しされ
ることと、その上に聖霊の注ぎがあることを祈ることです(使徒 2:33)。

質問 103 第三の祈願では、私たちは何を、祈り求めるのですか。

答え I 第三の祈願は「御心が天になるごとく、地にもなさせたまえ」
です。私たちはまるで、天使たちが天でしているように、神の恵みによ
って、万事につけ神の御心を喜んで知り、従い、屈服することができる
ようにと、祈ることです。

1. 第三の祈願で「主の御心」とは、まず 何を意味するのですか。

主の祈りの第三の祈願は、「主の御心が天になるごとく、地にもなさせたま
え」です。この祈願での「主の御心」とは、文脈上、教会に向けられる神の御
心です。教会はただ、外的な社会機関ではなく、霊的機関です(エペソ 1:10,22
-23)。キリストが、教会を世から区別させました(ヨハネ 15:19)。従って、
教会は、この世にいながら聖なる神を表わす機関です。それゆえ私たちは、教
会がこの世にいながら神の御心を表わすように祈るのです。勿論、教会は、

この機能を発揮できるように教理を純粋に守り、偽教師を禁じさせ、異端を罪に定め、神の救いの計画の実行について宣言しなければなりません。教会は真理に対して従順し、聖霊の賜物によって豊かにされるべきです (エペソ 1:3,3:16)

2. 第三の祈願で「主の御心」とは、個人にどのように適用されますか。

第三の祈願で「主の御心」は、個人に適用できます。各々キリスト者たちは、聖くなろうと労すべきです (I ペテロ 1:16)。聖くなろうと労することは、自分に残っている腐敗性を聖霊によって殺すことによって (ロマ 8:15)、聖霊に従って戒めを守ることによって (ロマ 8:4)、自分を神さまに大いに捧げることによってです (ロマ 6:13)。言葉と行いとすべての領域で聖なる者となるように労し (I テサロニケ 5:23)、聖霊の賜物によって整えられ (II テモテ 3:17)、奉仕の職務を果たし (エペソ 4:12)、戒めを守りながら愛を示し (ヨハネ 14:15)、キリストのために喜んで苦しみをも受けるのです (ピリピ 1:29)。第三の祈願は、信者個人に向けられる神の御心を尊ぶという、意思を添えての祈りです。

3. 第三の祈願では、実際に「主の御心」に従順できるように どのような祈りの内容が、含まれていますか。

第三の祈願には、実際的に、主の御心に従順できるように、恵みをくださいという祈りの内容が含まれます。私たちは、本性上、神の御心を知っていたとしても、従順を喜ばないのです。神の御心に従順すべきことを後回しにして、その上、反対のことは行ったりします。私たちの心は曲げられて、私たちの肉がまだ残っているからです。従って、神の御心に従順するためには、恵みが必要です。その恵みは、私たちの意思に影響を与えて、私たち自ら喜んで従順するようにさせます (エズラ 1:5)。聖霊が私たちの意思に感化を与えて、私たちによって神の御心に従順できるようにさせます (ピリピ 2:13)。神は、私たちの意思に影響を与えて、私たちに従順できるようにしてくださいと約束しまし

た（Ⅱコリント 12:9）。従って私たちは、聖霊さまが、私たちの意思を感化させてくださるようにと求めるべきです（エレミヤ 31:18）。

質問 104 第四の祈願では、私たちは何を、祈り求めるのですか。

答え I 第四の祈願は「我らの日用の糧を今日も与えたまえ」です。私たちはこの世の良き物の正当な分を、自足しながら受けることと、それらと共に、神の祝福を楽しむことを、祈ることです。

1. 第四の祈願で「日用の糧」とは、何を意味するのですか。

第四の祈願は「日用の糧を今日も与えたまえ」です。この祈願では「日用の糧」あるいは「パン」は、この世での良き物と表現できます。この世の良き物とは、私たちの生活に必要なすべてのことをいう言葉として、食べ物と飲み物は勿論で、私たちの避難所となる家と睡眠とを含めます。このようなものは、私たちの体のために必要なことです（ヤコブ 2:16）。このようなことは、この世を生きる間に必要な、一時的なものですが、私たちの自然的生活を維持させるためにも祈ることです（イザヤ 3:1）。このような物がなければ、私たちの霊的生活も維持することができないからです。

2. 第四の祈願で「今日」と「日用の糧」という語句は、何を意味しますか。

「日用の糧」とは、量が多くないもので、一時的に慰めを与えてくれます。このような量のために祈りなさいというのは、神がくださったものとして自足しなさいということです。また、私たちが傲慢にならないように、定められる

措置です（箴 30:8）。私たちは、外的に繁栄している時は、靈的に注意を払うべきです。持っている財産によって、靈的な安全の保障としないようにです。一方で、「今日」という単語には、明日のことに対して心配しないように（マタイ 6:34）、日々の生活を完全に主に委ねることを要求なさるのです。神は、続けて私たちを祝福なさいます。今日私たちに必要なものをくださる主は、明日も明後日も続けて供給してくださるからです。従って、第四の祈願は、毎日祝福なさる主の真実性に対する、確信を持たせるための祈りであり、神がくださるもので自足させようとする、祈りです。

質問 105 第五の祈願では、私たちは何を、祈り求めるのですか。

答え I 第五の祈願は「我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ」です。神が私たちのすべての罪を、キリストのために、ただで赦してくださいと祈り、その方の恵みのゆえに、私たちが他人を、心から赦せるのが、可能になるようにと、祈ることです。

1. 第四の祈願と、第五の祈願が、連結されている理由は、何ですか。

第四の祈願は「日用の糧」をと求めることと、第五の祈願は「我らの罪を赦してください」です。ところが、第四の祈願と第五の祈願が接続詞によって連結されています（これは韓国の聖書の訳の場合です）。この意味は、我らの罪が赦され、キリストによって受け入れられない限り、外的な祝福は、神の祝福になれないという意味です（I コリント 3:22-23）。人々は、外的に物質的な祝福を持っていれば、その人は祝福されていると言います。しかし靈的でなく、回心していない状態での物質的な祝福は、神の祝福ではなく、むしろ外的な祝福によって、キリストからなお遠ざかるようにさせるから、危険な物です（ルカ 18:23）。

2. 第五の祈願で、罪を負債という理由は、何ですか。

罪は、神の公義に従って審判されます（ロマ 6:23）。しかし、人々は、どのような行為によっても、神の審判をなくせません（詩 130:3）。人が罪を犯したことに對して、どのような方法によっても、神の審判を避けられないから、罪を、人は償えない負債と言うのです。従って、人々の負債に對して債務者となられる神が赦してくださる方法以外は、方法がありません（ミカ 7:18）。それは、キリストの贖いの働きを根拠にして罪を赦してくださるのです。罪を赦してくださるとは、罪責と審判から放免してくださるということです（ロマ 3:26）。神が罪を赦してくださる範囲は、私たちのすべての罪です（詩 103:3）。それゆえ信者は、毎日、自分の罪の赦しに對して、祈らなければならないです。

3. 第五の祈願では、他の人の罪を赦すために、何を祈願しますか。

信者はすでに、神からの赦しの恵みを経験しました。信者は、神に従って、他の人の罪を赦しなさいと求められます。更に、互いに赦さなければならない理由は、それが、神の国の法だからです（マタイ 5:44,6:14）。信者たちの間には、この法は最も義務的です。キリストにあって結合されていて、教会の会員の間には差別がないからです（I コリント 12:25,27）。他の人が、私たちに障害を与えたとしても、赦さなければなりません（マタイ 18:15）。勿論、この赦しは形式的なものではなく、心から出て来るものでなければなりません。このように、他の人を赦せることは、私たちの自然的品性によってなるのではないので、このような赦しが可能になれるように、恵みを求めなければなりません。ヨセフのように、自分の兄たちを赦せるためには、神の恵みが必要です（創 50:17,21）。

質問 106 第六の祈願では、私たちは何を、祈り求めるのですか。

答え I 第六の祈願は「我らを試みに合わせず、悪より救い出したまえ」です。私たちは、罪の誘惑を受けられる時、神が私たちを守ってくださるよう、あるいは、私たちが試みられる時に、私たちを救い出してくださいと、祈る事です。

1. 第六の祈願の前半は、何ですか。

第六の祈願は、「我らを試みに合わせず、悪より救い出したまえ」です。この祈願は、二つの部分に分けられますが、前半の祈願は、誘惑から救い出してくださいという祈りです。第六の祈願は、第五の祈願と連結されますが、私たちは、毎日続けて罪を犯しているように、罪の誘惑を受けます。それで罪の誘惑から救い出されるために、祈る事です（マタイ 26:41）。罪の誘惑は、世と悪魔と私たちの腐敗性から受けます。特に、誘惑の力が強いので、私たち自身の力では勝てるものではありません。従って、誘惑を抵抗できる力をくださいと、祈る事です（ヤコブ 4:7）。

2. 第六の祈願の、後半は、何ですか。

第六の祈願の後半は、「悪より救い出したまえ」です。サタンは、私たちに罪を犯すように誘惑する者です。サタンは、私たちの罪となっている本性を再三起こして、罪を犯させます。私たちが悪の本性の中にいるようにさせます。私たちの悪な本性は、私たち自身を頼らせる傲慢と、神を排除する不信仰と、世と肉の楽しみを追求するようさせるものです（ガラテヤ 5:19-21）。誘惑を受け、このような悪に陥るようになれば、悪魔は、抜け出られないようにあらゆる対策を講じます。従って信者は、悪に陥らないために警戒し、目を覚ましていなければなりません。このような敬虔の義務は、決して簡単なことではないから、ただキリストを頼り、恵みを求めなければなりません。

質問 107 主の祈りの結びは、私たちに何を、教えてくださいか。

答え I 主の祈りの結びは、「国と力と栄えとは、限りなく、汝のものなればなり、アーメン」です。祈りのうちに、ただ神から勇気を受けられることと、私たちは祈りながら神を賛美し、国と力と栄えとが神に帰することを学び、私たちの望んでいることに対して、そして、聞かれることと確信します、「アーメン」と言うのです。

1. 主の祈りの結びが、私たちに教えてくださいか、第一は、何ですか。

主の祈りの結びは、「国と力と栄えとは、限りなく、汝のものなればなり、アーメン」です。主の祈りの結びが教えてくださいか第一は、私たちの祈りを聞かれ、教えてくださいか方は、ただ神だけということです。私たちに、どのような価値があつて答えられるのではなく、ただ神の恵みだということです（ダニエル 9:19）。それゆえ、主の祈りの結びは、私たちの信仰を目覚めさせ、望みを奮い起こさせます。そして、すべての善なる約束が、神の時に神の方法で成就されることを知るようにさせます（ダニエル 9:18）。

2. 主の祈りの結びが、私たちに教えてくださいか、第二は、何ですか。

主の祈りの結びは、私たちは祈りうちに必ず、神を賛美し、神をあがめなければならぬことを教えてくださいか（詩 50:23）。神を賛美する方法は「国と力と栄えとは、限りなく、父にあります」ということです。これは、ただ神だけにある、偉大さと力と栄えと尊厳との栄光を賛美することです（I 歴代 29:10-14）。神の統治が神の御力によって成し遂げられることを、賛美するのです（詩 66:3,7）。これは、祈りをする私たちに、約束されたことが成し遂げられるのに問題がないことを、確信させます（ロマ 6:22）。また、神の栄光の卓越さを賛美することで、主の栄光ある約束が成就されることを確信できるのです（詩 45:17）。

3. 主の祈りの最後に「アーメン」という、理由は、何ですか。

私たちの望んでいることを表すことであり、主が聞かれたことを確信することです。私たちの望んでいることを証した時、私たちは「そのようになることを願います」と言いますが、それを「アーメン」と表わす言葉です。一方、主が私たちの祈りを聞かれたと確信する時、「そのようになるでしょう」と表現することができますが、「アーメン」が、それを表わす言葉です。私たちの祈りを確信しながら、終わるときは、謙遜であるべきです。すべてが神の時に、神の方法によって成し遂げられるからです（詩 50:17）。